

2020 年度事業 進捗報告書（実行団体）

- 提出日 : 2022年9月5日
- 事業名 : 沖縄シングルマザーの活躍推進基盤構築事業
- 資金分配団体 : 公益財団法人オリオンビール奨学財団
- 実行団体 : 公益社団法人沖縄県母子寡婦福祉連合会

① 実績値

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
Ready 支援 データアナリスト育成講座説明 会	説明会実施回数 参加人数	<ul style="list-style-type: none"> ・各期毎に1回開催 参加人数目標 10名～20名 ・転職を検討しているシングルマザーに広く認知され、多くの人が参加している状態 ・説明会参加者が受講を希望する 	講座開始時	<p>各クール毎に説明会を開催 各市町村母子会にチラシを配布し、周知を図る・</p> <p>第1回説明会 (2021年5月22日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講対象者 14名 ・支援者 14名 <p style="text-align: right;">計 28名</p> <p>説明会参加者の内 13名が受講を希望。 最終決定 10名</p> <p>第2回説明会 (2021年11月27日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講対象者 5名 	2

				<ul style="list-style-type: none"> ・第1期生 5名 ・支援者 5名 ・企業 3名 ・市議会議員 2名 ・行政職員 1名 ・マスコミ 5名 <p style="text-align: center;">計26名</p> <p>説明会参加者 5名及び個別説明を行った7名の計12名が受講を希望 最終決定 10名</p> <p>第3回説明会 (2022年7月23日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講対象者 8名 <p>説明会参加者の内6名及び個別説明を行った2名の計8名が受講を希望 最終決定 8名</p>	
--	--	--	--	--	--

<p>データアナリスト講座開始</p> <p>第1クール受講者 10名</p> <p>第2クール受講者 10名</p> <p>第3クール受講者 8名 (1クールにつき12カ月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講座実施回数 ・ 受講者人数 ・ 継続人数 ・ 認定人数 <p>【認定基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 習熟度テスト等の実施 ・ 出席状況 <p>* 適性等ふまえ総合的に判断</p>	<p>計画通りに講座が開催、実施され、参加者のスキルアップに役立っている状態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各クール参加者の欠席率が低い状態 ・ 認定を受ける人の割合が高い状態 	<p>各クール講座開催時 ～ 講座終了時</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1クール 2021年6月5日 ～2022年6月25日 予定回数(25)+3回で終了 ・ 受講者人数 10名 ・ 継続人数 7名 ・ 出席率 80% ・ 認定人数 3名 <p>認定については、マギー株式会社による個別面談で決定。 7名の内、就職を希望した3名はマギー株式会社に就職。 4名については、現職の契約期間が残っているため現職を継続。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2クール 2022年1月8日 ～2022年12月24日 (予定) 8月時点で、16回終了 ・ 受講者人数 10名 ・ 継続人数 10名 ・ 出席率 80% ・ 認定人数 時期未到来
--	---	--	----------------------------------	--

<p>Community 支援 1～3年目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回 スクーリングの際交流会を開催 ・ひとり親世帯の利用可能な制度等の周知や相談窓口の紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者人数 ・受講者同士コミュニケーションが図れているか ・制度の紹介、利用が出来るか 	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者同士コミュニケーションを取っている ・自分で働く環境を整備している 	<p>各クール全受講期間を通じて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で定期的な交流会の開催は出来なかったが、講座の前後で受講者同士の交流は出来ている。また、グループラインを作り、自宅学習をしている際、わからないところなどを教え合っている。 ・イベント開催 2021年12月24日 クリスマス会 「ダンス・コミュニケーションでリフレッシュ」 受講生及び地域のシングルマザー 25名が参加。 2022年2月27日 「親子で学ぼう地域資源 奥武島」 受講生及び南城市母子会の親子23名が参加 ・制度等の紹介はその都度行っている。(利用状況の確認まではしていない。) 	<p>2</p>
--	--	--	----------------------	---	----------

<p>Take-off 支援 就労相談を開始・継続 受講終了者を就労につなぐ</p>	<p>・希望する受講者に就労相談を行ったか ・就労意欲を高めるための講座を行ったか</p>	<p>・各クールの参加者が習得したスキルを活かして、積極的に就職・転職に取り組む</p>	<p>各クール講座終了2カ月前より</p>	<p>・就労意欲を高める取組として社会保険や、働くための知識を育むための講座を実施</p> <p>2021年12月24日 Community支援の前に講座を経済基盤と整えるための講座を開催 「オトクな家計管理術」 受講生及び地域のシングルマザー25名が参加</p> <p>2022年4月30日 社会保険等の基礎知識を学ぶための講座を開催 「保険のキソ」 第2期生 10名が参加</p> <p>・就労支援 第1期生 個別面談を実施 7名</p>	<p>2</p>
--	--	--	-----------------------	---	----------

*進捗状況：1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A: 変更項目 <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値
5.新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
密を避けること、換気や検温、消毒等の安全面には相当の配慮を行った。 Community 支援については、特に注意を払った

③ 広報 (※任意)

1.メディア掲載 (TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等)

2021年12月8日 沖縄タイムス データアナリスト育成講座説明会

2022年1月27日 沖縄タイムス 沖縄から本気で「打倒アマゾン」ビックデータを分析する人材 シングルマザーから育成
所得向上と貧困解消狙う企業

2022年5月21日 琉球新報 脱貧困 スキル養成 所得向上へ データアナリスト講座

2022年6月16日 沖縄タイムス 母子家庭の支援 自公に要望提出

2022年7月30日 公明新聞 ひとり親世帯の所得向上へ

2.広報制作物等

データアナリスト育成講座 案内要 A4 チラシ 500枚×2回

3.報告書等

2020 年度事業 中間評価報告書（実行団体）

評価実施体制

内部／外部	評価担当分野	氏名	団体・役職
内部	全体	与那嶺 清子	(公社) 沖縄県母子寡婦福祉連合会 会長
内部	全体	比嘉 美智子	// 事務局長
内部	全体	小那覇 涼子	// 事業推進部長
内部	全体	友寄 明美	//
内部	全体	仲村 利香	// 統括責任者
内部	就労	新川 美由紀	//

A) 事業のアウトカムの進捗状況の評価

① 短期アウトカムの進捗状況

アウトカムで捉える変化の主体	指標	目標値	達成時期	これまでの活動をとおして把握している変化・改善状況
県内シングルマザー	データアナリストという仕事の内容の認知・理解度・受講意欲	仕事内容の認知・理解度が高まり、受講意欲がわく。	受講開始まで	<p>本事業の説明会参加者や個別説明を希望した人は、基本的には、自ら将来を考えてスキルアップを図りたいという思いを既に持っており、説明会に参加したことで、大きく意識が変化したということはない。</p> <p>但し、本事業における「データアナリスト」という仕事の内容は、説明を受けたことで理解が深まり、受講意欲がわく状況はあったと思われる。(1期生、2期生とも説明会の参加者及び個別説明を行った人は全員が受講を希望して</p>

				いることからうかがえる) 継続が可能かどうか、興味を持てる分野か等自ら判断は行っている。
	受講継続者の割合	<ul style="list-style-type: none"> ・受講継続者が多い (受講者の7割) ・仕事について具体的なイメージを持つことが出来ている人の割合が高い (受講者の7割) 	受講期間	<p>第1期生については7割が継続。継続できなかった3名については、自らの体調不良や子どもの預かり等が要因。長期講座のため、途中の事情変更はやむを得ないが、継続できなかった受講生に対して就労支援等のフォローは行っている。</p> <p>第2期生については、現時点で全員が継続。</p> <p>継続者については、受講を重ねることで、より仕事の具体的なイメージを持つことが出来ている状況が見られる。講座開催時には、その前後に受講者との会話を通じて現状を確認。個別相談が必要な受講生に対応できる体制を整えている。</p> <p>また、受講時の様子を確認しながら、こちらから声掛けを行い、課題等があれば早めに把握し、解決につなげるようにしている。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション力の向上 ・講座受講についての不安度の軽減 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を伝えることの苦手意識がない 	受講期間	<p>受講開始時と比較して、質問も多くなり、疑問点については、積極的に確認している状況が見られる。</p> <p>受講時の様子を随時確認し、疑問点について躊躇なく質問している状況を直接確認。</p>

		・受講者同士で切磋琢磨し受講継続		<p>講座開始前後に、受講者同士教え合うことも多い。また、グループライン等で、自宅復習の際の疑問点を教え合うこともある。</p> <p>2期生についての聞き取りで、10名中8名が復習をしていると回答。復習の際に必要な教材についても積極的に提案を行う。</p>
	講座によって身に付けたスキルを活かした職業に就き、高い収入を得ようとする人の割合	<p>・講座によって身に付けたスキルによって収入向上を実現している人の割合が高い状態</p> <p>(受講者の7割)</p>	受講後	<p>第1期生の内、講座終了後就職を希望した3名については、マギー株式会社に正社員として採用決定。無職や契約社員からの就・転職のため、雇用形態で安定した。初任給（月給）は18万円+能力給。</p> <p>4名については、現職の契約期間が残っているため、終了時点での転職は選択しなかった。個別面談において、明確に自らの意思を伝える様子が見られた。</p> <p>仮に現職で正職員登用がある場合には、その選択も検討したいという意思表示もあり。</p>



② アウトカムの分析「⑧アウトカムの達成度」(※任意)

評価小項目	評価小項目の評価結果	評価結果の考察



事業のアウトカムの進捗評価	評価結果の考察
<p>事業のアウトカムの進捗の程度は、事業終了時には</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値を上回っての達成の見込みがある<input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値の達成の見込みがある<input checked="" type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値はおおむね達成できる見込みがある<input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値の達成は不透明である<input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値の達成は難しい <p>と自己評価する</p>	<p>講座自体は順調に進んでいる。</p> <p>ただし、現職の契約期間と講座終了時の時期が合わないことから、終了後即転職が出来ない状況もある。</p> <p>また、長期の講座のため、当初想定していなかった本人の体調不良や子どもの病気等で継続が難しいケースも出ている。</p> <p>継続できなかった場合のフォロー体制は整えていることやコミュニケーション能力は向上している様子が見られることから、短期アウトカムの目標値はおおむね達成できる見込みがあると評価。</p>

B) 事業の改善状況の評価

① 事業の実施過程・事業改善に関する評価

評価項目	評価小項目	評価結果	考察
実施状況の適切性	必要な世帯が無理なく参加できる内容か。	実施状況は適切と評価	1年間という長期講座を踏まえて、隔週土曜日の午前中の開催とした。参加しやすい状況は整えており、約80%と出席率も高い。(欠席の理由の大半はコロナ関連によるもの)
実施をとおした活動の改善、知見の共有	事業を実施する中で生じた課題について対応できているか。	課題を把握し、改善に努めた	1期生講座を実施する中で、実践(データ分析)を早めに取り入れた方がよりイメージがつかみやすく、知識習得も早いということがわかり、2期生の講座の進め方を改善した。 また、2期生より、実際にデータアナリストとして従事している講師を配置し、より実務を意識できる講座内容とした。
組織基盤強化・環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を推進していく上で十分な人的配置や体制が整っているか。 ・長期講座を実施するための環境は整っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他事業も活用しながら、就労支援に力を注ぐことが出来た。 ・研修室を活用し、受講環境を整えた 	<ul style="list-style-type: none"> ・当連合会では、日々就業相談を行っており、さらに就職支援事業も実施している。受講に繋がらなかったシングルマザーにも、就労支援を行っている。 ・当連合会研修室のWIFI環境を整え、スムーズな講座運営を心掛けた。さらに、受講前後には、研修室を開放し、自習等にも対応した。受講生にはノートパソコンを貸与し、自宅学習が可能な環境を整えた。

② 短期アウトカムの状態の変化・改善に貢献した要因や事例

本事業は当初より「データアナリスト」を育成し、安定雇用につなげるというシンプルな目的の下に計画を立て進めているため、事業スキーム自体に大きな変化はないが、受講生の意見や様子を観察しながら、講座の進め方等に工夫をこらしている。

出口戦略の就労を担当するマギー株式会社と密に連携をとることで、早めに課題を把握し、小さな改善を積み重ねることで、当初の目的の達成に繋がると考えている。

③ 事前評価時には想定していなかった成果

・実行団体の一つである NPO 法人リトルワンズと良い連携体制を構築しつつある。就労支援という事業内容は、共通しているが、リトルワンズは、企業開拓を進めているため、当連合会の就業相談及び就職支援事業とも連携が可能で、お互いの強みを生かしたシングルマザー支援体制が構築できる。さらに、リトルワンズは食の支援についてもマニュアル等を作成しており、当連合会が実施している食支援にも役立ち、意見交換会等を開催することが出来た。

また、団体同士で連携し、議員向け政策提言も行った。(新聞記事添付)

・事業を推進する中で、マギー株式会社では新たに「動画クリエイター」という人材の需要も生じている。「データアナリスト」と共通する部分もあり、講座内容に取り入れることも可能。



④ 事業計画の改善の必要性の確認

- 社会課題のニーズに事業計画の内容は合致している
- 受益者や事業対象グループのニーズに事業計画の内容は合致している
- 事業計画に記載している活動は、アウトプット⇒アウトカムへのつながりが実際に確認できている
- 残りの期間の資金配分・人員体制・スケジュールは活動を円滑に行えるよう計画されている
- 短期アウトカム指標は、事後評価時に測定し、達成度を評価することが可能な内容になっている



事業の改善状況の評価結果	評価結果の考察
残りの事業期間で、事業が短期アウトカムを達成するために <input type="checkbox"/> 事業計画は適切に改善されたといえる <input checked="" type="checkbox"/> 事業計画を適切に改善する見込みがある <input type="checkbox"/> 事業計画の改善について、課題が残っていると自己評価する	現時点で、受講を終了しているのは、1期生のみなので、分析や評価は難しい部分がある。 しかし、課題についてはその都度把握し、改善に努めていることや動画クリエイターという分野もニーズが見込まれることから、講座内容に取り入れることで、より出口戦略が強化できるのではないかと考えている。 NPO 法人リトルワンズの企業開拓とも連携を図り、選択肢を広げることも可能。

⑤ 中間評価結果を踏まえて今後注力したいまたは早急に取り組みたい事項をお聞かせください。

1 期生講座において感じた課題を少しずつ改善し、2 期生に繋いでいる。動画クリエイターという新たな職種のニーズも出てきたことから、終了後の選択肢をより広げる取り組みを行いたい。

1 年間という長期講座を継続できるようどう支援体制を整えていくか、改善が必要かという視点を常に意識したい。

また、今後の受講生募集について、どう周知していくかについて検討していきたい。

本事業の終了後を踏まえ、新たなシングルマザーの就労支援事業として、県事業（県子ども家庭課・県雇用政策課）へ取り入れることを要望することも検討課題としたい。

添付資料

活動の写真（画像データは1枚2MG以下、3～4枚程度）